

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 13日	
福岡県知事 殿	
提出者 〒807-8588	
住 所 福岡県北九州市八幡西区小嶺二丁目10番1号	
氏 名 株式会社 三井ハイテック	
代表取締役社長 三井 康誠	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
担当者(電話番号) 0949-22-2500	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2 第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 三井ハイテック 直方事業所
事業場の所在地	福岡県直方市大字中泉965-1
計画期間	令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他の電気機械器具製造業 [2999]
② 事業の規模	生産高額：12,192百万円
③ 従業員数	従業員数 400人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙第1のとおり。



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙第2のとおり。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項：別紙第3のとおり。

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 強酸、強アルカリ、強アルカリ（有害）に分別し、適正に分別管理している。
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項：記載事項なし。

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項：記載事項なし。

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項：記載事項なし。

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項：別紙第4のとおり。

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	1,588.130 t	
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェストについては、既に運用しています。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程（令和5年度実績による。）

廃棄物の種類及び品目		発生源	性状	排出量 t／年	処分方法	処理詳細	-凡例- (中)：中間処理 (最)：最終処分	(再)：再生利用 ※処理量は推測値
特管 強酸	化研液	めっき工程	液状	28.070 t	中和	中和 (中) (28.070 t／年)	残渣 (約13%) セメント原料化 (再) (3.649 t／年)	
特管 強アルカリ	脱脂液	前処理工程 エッチング工程 めっき工程	液状	1223.080 t	中和	中和 (中) (1223.080 t／年)	残渣 (約13%) セメント原料化 (再) (159 t／年)	
特管 強アルカリ (有害)	シアン液	めっき工程 ジスト前処理 工程	液状	237.550 t	シアン 分解	シアン分解 (中) (237.550 t／年)	残渣 (約1%) 焼成ペレット化 (再) (2.375 t／年)	
特管 強アルカリ (有害)	シアン液	めっき工程 ジスト前処理 工程	液状	99.430 t	焼却	焼却 (中) (99.430 t／年)	残渣 (約2%) 埋立 (管理型) (最) (1.988 t／年)	

※ 廃棄物の処理は、すべて委託処理による。

産業廃棄物処理に係わる管理体制等

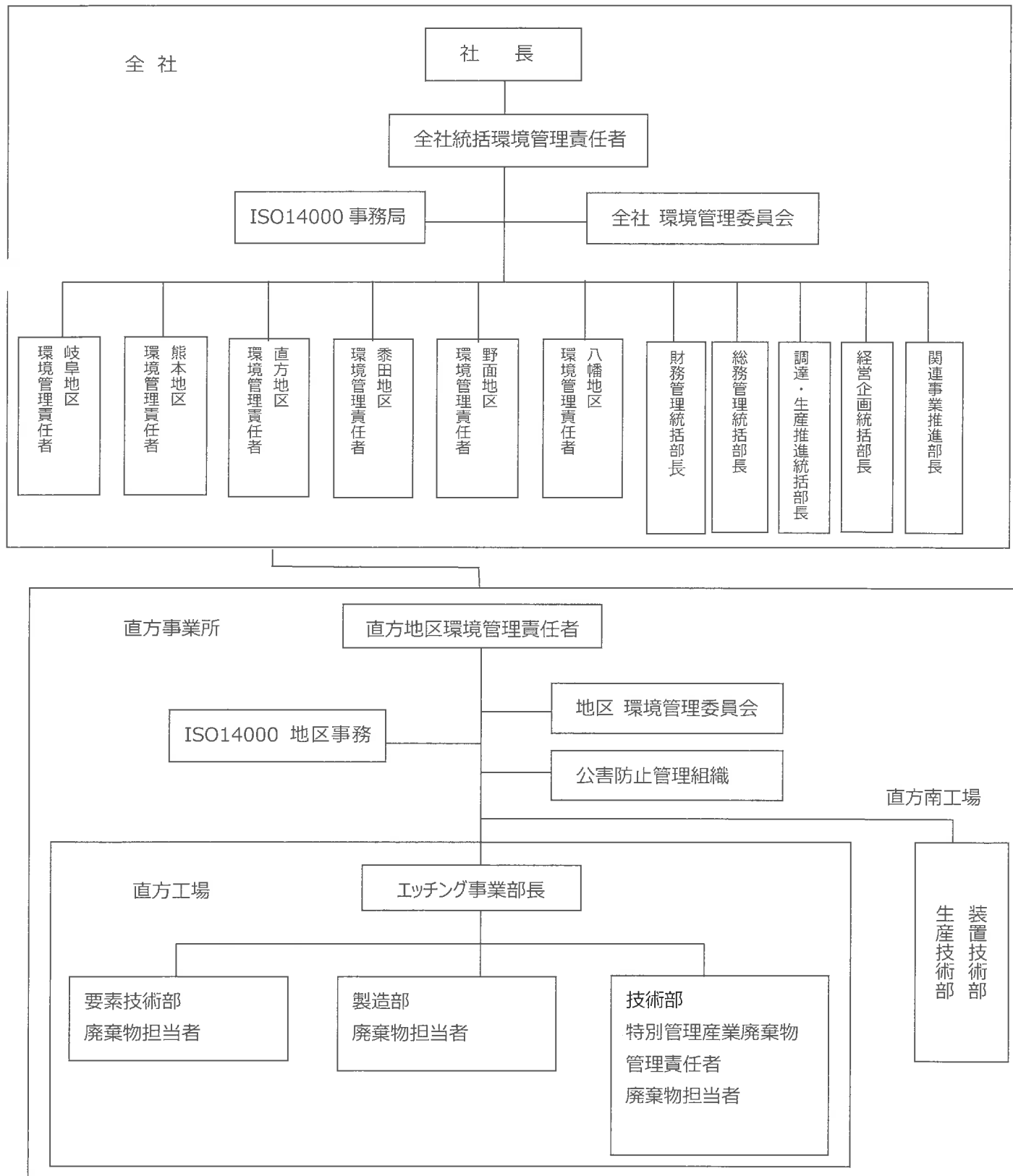
1 産業廃棄物の処理に係る役割

統 括 責 任 者		直方事業所長（地区環境管理責任者）
廃 棄 物 担 当		リードフレーム事業本部 エッチング事業部 担当者：6人
役 割	直方地区 環境管理委員会	地区環境管理責任者は、下記事項の責任を負う。 廃棄物に係わる方針/目標検討及び決定。 廃棄物の削減目標、発生抑制、適正処理に関する事項の検討及び実行 案決裁。
	産業廃棄物等排出元管理責任者	当該部長は、産業廃棄物等排出元管理責任者を兼ね、部署内の廃棄物 に係わる事項の決定/承認を行う。 廃棄物処理計画の決定/承認。 日常管理業務の統括
	本社財務部長	廃棄物収集運搬及び処理に関する許可業者との契約書の締結。 契約先(収集・運搬/中間処理/最終処分等の会社)の環境監査実施。
	産業廃棄物処理担当者	廃棄物排出量の現状把握と分別管理の推進 廃棄物処理計画の策定 廃棄物処理委託先の選定・確認・状況把握 特別管理産業廃棄物管理責任者及び技術管理者の設置 監督官庁への年度報告及び調査立会等 社員/関連会社等への教育/啓発活動

2 管理組織 (2024.06 現在)

当社の管理組織は、環境マネジメントシステム(EMS)を導入した '99.3 月から下図の委員会で審議し夫々の決定事項を全社案件であれば全社環境管理責任者または地区案件であれば地区環境管理責任者が夫々承認/決裁する体制としている。これらの決定事項の実施は、部門長の責任で各部において実行に移される。

環境マネジメントシステム管理組織



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】					
① 現状	産業廃棄物の種類	強酸 化研液	強アルカリ 脱脂液	強アルカリ (有害) シアン液	
	排 出 量	28.070 t	1223.080 t	336.980 t	
	(これまでに実施した取組) 1. 品質向上による不良損失防止及び製造設備からの液漏れ防止による薬品の消費削減を図った。 2. 自動補給化を推進し、薬品消費量の削減を図った。 3. 生産工程の設備改善により薬品持出しの抑制を図った。 4. 溶液槽の濃度管理値及び有効寿命並びに製造条件管理の見直しについて、検討中である。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	強酸 化研液	強アルカリ 脱脂液	強アルカリ (有害) シアン液	
	排 出 量	27.789 t	1210.849 t	333.610 t	
(今後実施する予定の取組) 現状施策を継続実施する。					

